



平素の生活の中でも意識して取り組むことで、

話す・聞く力は確実に向上していきます。

**伝え合おう**

呉市立長郷小学校 日誌  
 ←学年直長指導項目

**話すことについて**

- 1 相手の話をよく聴きながら話している。 ←1年
- 2 伝えたいことをもち、相手の心をよんで話している。 ←1年
- 3 敬語、敬、異文化に気を付けて、話がよく聞かれている。 ←2年
- 4 声をはっきりと出し、声の調子、速さ、高さなどを工夫して話している。 ←2年
- 5 相手の話を聞き、返す言葉、返すタイミングなどを工夫して話している。 ←2年
- 6 話を整理して、筋道を立てて話している。(E W I F (いつ、どこ、だれ、なぜ、どのように) ナンパリンゴ、ラバリンゴ) ←4年
- 7 場面場面で、事実と想像を分けたり、経験を申ししたりして話している。 ←5・6年
- 8 質問や相手、場に応じた言葉で、相手の反応を確かめながら話している。

**聞くことについて**

- 1 相手の話をよく聴いている。 ←1年
- 2 相手の話を最後まで聴いている。 ←1年
- 3 分からないことや、確かめたいことなどを自分からたずねている。
- 4 大事なことをよく聴き、友達の話をよく聴くことに気をつけている。 ←2年・ここにこ学校
- 5 話を聴いて、メモをとったりしながら聴いている。 ←2・4年
- 6 相手の心をよんで聴き、そのことに関わる意見や感想を持っている。
- 7 相手の話したいことは自分も話そうと聞きながら聴き、意見や感想を持っている。 ←5・6年

**話し合うことについて**

- 1 たずねたり話したりしながら話し合っている。 ←1年
- 2 話したいことが分かり、相手からそれずに話し合っている。 ←2年

話す・聞く・話し合うに関わって大切にしたい内容(評価規準に示した内容、話す8項目・聞く7項目・話し合う7項目)を子ども達が日々意識できるよう、学校でも**教室に掲示し、声をかけていく**ようにしています。

伝え合うことに関わっての家庭用掲示プリントを数日前に配布いたしましたので、ご家庭でも**掲示**され、子ども達に**折にふれ声をかけて**いただければありがたいと思います。

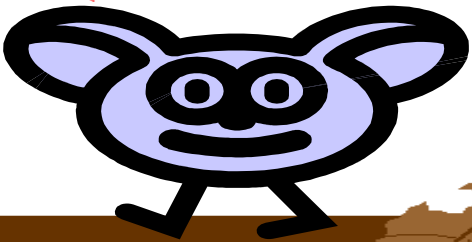
### 聞くための指導の工夫

聞くことを大切に活動として、「聞くノート」に、聞いたことの足跡を残す取り組みを全校で行っています。聞きたいと思える場としていけるよう、全校朝会のネーミングを工夫しました。発達段階に応じて、「聞くノート」の内容も充実させていきます。

また、しっかり聞かせるために、話す側も、言語技術を意識して話すよう努力します。

耳をでっかくして  
 しっかり聞こう。

生活でか耳朝会  
 発表でか耳朝会  
 お話でか耳朝会



### 9年間を見通した学びの系統

1年から6年までの系統的な指導や支援のあり方を確立しつつ、中学校の3年間につながる力についても研究を進め、小中9年間を見通した学びの系統へと広げていきたいと考えています。小中9年間を視野に入れた取り組みを進めることで、中学校への円滑な接続、確かな学力の定着等をめざしています。

長郷小学校では数年来、伝え合うことを大切に取組んできました。確かに伝え合うためには、伝える言葉と同時に、相手の伝えようとする思いを受け止めることも大切です。相手の思いや考えを受け止めようとする姿勢なくして伝え合うことは成立しません。

今後の取り組みにおいても、ご家庭の皆様の願いや思いを受け止めながら、子ども達に確かな力をつけていけるよう進めていきます。